

科目： 日本文化（華道） （演習1単位）	担当教員名：海老澤宣子  担当形態：複数	テキストなし
<b>授業到達目標及びテーマ：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化（華道）について理解し、華道の持つ華やかさと共に心の癒しや環境構成、雰囲気を楽しむながら実践し身につける。</li> <li>・生け花に対する考えや仕方を柔軟に考えながら、子どもと共に感動する心情を共有できるように基礎を身につけ、また、季節の自然物や植物についても興味や関心が持てるようにする。</li> </ul>		
<b>授業の概要：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・華道についての基礎的な知識を身につけ、グループでの実演をしながら完成を喜ぶ。</li> <li>・生け花をすることで環境や雰囲気の違いを知り、生け花の鑑賞やグループでの講評を通して、華道への興味や関心を学ぶ。</li> </ul>		
回	項 目	内 容
1	オリエンテーション及び 日本文化について	冒頭で授業の概要について説明する。華道について知識を深める。 また、公園の季節の花や植物を見つけ、保育室にはどんな生け方があるかを学ぶ。
2	生け花の基本（1）	準備してある花の名前を知り、生け花の基本を理解しながら実際に生けてみる。また、意見交換をする。
3	生け花の基本（2）	花の名前や花言葉に興味や関心を持ちながら、直立型の生け花に挑戦する。 グループで完成した作品を鑑賞しながら意見交換をする。
4	生け花の基本（3）	グループで生けた花にテーマを決め学院内に飾る。また、意見交換をする。
5	まとめとして個々の生け花に 挑戦	日本文化（華道）についての学びを振り返りながら自己評価する。 また、個々の生け花について鑑賞し意見交換をする。
<b>参考書・参考資料：</b> 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、美しい花言葉、プリント等		
<b>学生に対する評価方法：</b> 授業態度や実践及びレポート提出等総合的に評価する。		
<b>【海老澤宣子】</b> 東奥幼稚園（現 認定こども園 東奥幼稚園）元園長		

科目名：日本文化（華道・茶道・ <u>手編み</u> ） （演習 選択 1単位）		担当教員名： 阿部真樹子	使用テキスト：
		担当形態： 複数担当	なし
系列		教養科目	
授業到達目標及びテーマ： 日本文化に親しむことによって、保育者としての資質の向上を目指し人的環境としての自覚を持つ。			
授業の概要： かぎ針編みの基礎を身に付け、色彩や形の勉強をしながら作品（かぎ針編みの帽子）を完成させる。			
回	項 目	内 容	
1	かぎ針編みの基礎	毛糸とかぎ針の太さについて学ぶ。 鎖編み、こま編み、長編みの編み方を覚える。	
2	帽子を編む	帽子を編むために毛糸とかぎ針を選ぶ。 頭の寸法に合わせて帽子の編み目の数を決めて、長編みで1段編む。	
3	帽子を編む	編み方を覚えた学生が苦手な学生に指導しながら編む。	
4	帽子を編む	帽子の縁をどのような形にするか決めて編む長さを調整する。	
5	手編みの帽子を完成させる	かぎ針編みの帽子を完成させて、集合写真を撮る。	
期末試験なし			
○参考書・参考資料 配布プリント等			
○学生に対する評価方法 授業への取り組みと完成した作品で手編みについて評価し、華道・茶道と合算して総合評価する。			

令和5年度

## 日本文化・茶道(演習, 1単位) 授業計画

担当 八木澤和希子

- ・到達目標 : 裏千家茶道の基本を楽しく学びながら、日本の伝統文化への造詣を深め、豊かなこころを養う。
- ・授業の概要 : 茶道の歴史や茶席での立ち居振る舞いを教え、学生各自が亭主、客となり薄茶を点て、頂きながら互いへの思いやりやマナーを身につけさせる。
- ・使用テキスト : 学校茶道初級編 (財団法人 今日庵)
- ・内 容 :

回数	内 容	
1	茶道のなりたち	・ 茶道の歴史 ・ 茶道のこころ ・ 茶と健康
2	茶道の基礎知識  茶席の心得	・ 茶室、露地、茶花 ・ 茶道具 ・ 茶席のお菓子 ・ 立ち居振る舞い (座り方、立ち方、歩き方、おじぎの仕方、ふすまの開け閉め) ・ お茶とお菓子のいただき方
3	割稽古	・ 帛紗さばき ・ 棗、茶杓の清め方 ・ 茶筥とおし
4		・ 茶巾のたたみ方 ・ 茶碗の清め方 ・ お茶の点て方
5	まとめ	・ 席入り ・ 盆略手前

学生に対する評価方法 : 授業態度、参加意欲、出席状況により総合的に評価する。